

「第3期 美瑛町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に対する 町民コメント実施結果について

「第3期 美瑛町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に対して町民の皆様からご意見を募集した結果について、ご意見の概要とご意見に対する町の考え方は次のとおりです。

貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

1. 町民コメントの実施結果

案件名	第3期 美瑛町まち・ひと・しごと創生総合戦略
実施期間	令和7年1月17日(金) ～ 令和7年2月16日(日)
案の公表方法	1 指定する場所での閲覧 (役場町民コーナー、町民センター、図書館、 ビ・エール) 2 町ホームページへの掲載
ご意見等の 提出方法	郵送、ファックス、電子メール、LINE回答フォーム、 ご意見箱への投函
結果の公表方法	町ホームページ
ご意見等の 提出者数、件数	提出者：2人 件数：2件 【提出方法内訳】 郵送：0人、ファックス：0人、電子メール：2人、 LINE回答フォーム：0人、ご意見箱：0人

※ ご意見は、体裁については修正しておりますが、内容については原文のまま掲載しています。

2. ご意見の概要とご意見に対する考え方

年代	70代
ご意見	<p>【評価できること】 この戦略は町民にとってわかりやすい情報源となっています。例えば、次の点があげられます。①厳選された指標が検証されている。②基本目標、戦略、主要事業までがつながっている。③5年毎の最新データがわかる。</p> <p>【課題となること】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 上位にあるまちづくり総合計画（10年毎）が良い意味で陳腐化しています。例えば、本改訂版の最新データは総合計画の数値をすでに達成しているものがあります。 2 毎年のまちづくり評価と予算策定は、DX やゼロカーボン、中心市街地などの新しい政策分野が増え、これも良い意味で総合計画を陳腐化させています。 3 こういった状況から、町長の町政執行方針は施策の羅列だけでなく、総合計画や本改訂版を引用して町政の現在地について指標とともに話してもらえれば助かります。例えば、人口移動のデータと移住者および新規起業数が意味するもの、ふるさと納税額やBe コインや宿泊延べ人数が意味するものなどです。
町の考え方	<p>本戦略について、評価いただきありがとうございます。今後とも、より良い町政執行のため、各施策を推進していくとともに、町民の皆様に分かりやすいデータ作成・提供を心掛けて参ります。</p> <p>また、ご意見をいただきました1・2の課題部分につきましては、おっしゃるとおり、計画策定時の状況と実際の現状とのズレが生じたことにより齟齬がでているものです。まちづくり評価は中長期的な視点で評価する必要があり、計画年度途中で更新することが難しい面もありますので、計画目標と実績の齟齬を把握しながら、正しい評価をすることに努めて参ります。3についてもご意見を受け止め、今後の町政執行及び説明の方法等を検討してまいります。</p>

年代	80代
ご意見	<p>1. 何故タイトルに「デジタル田園都市国家構想」の文字が入らないのか？ 今回の「総合戦略」策定は、日本社会のデジタル化の遅れが抜き差しならない所に来ていることの現れです。デジタル化が国の大命題であり、「総合戦略策定の手引き」の中でも、「デジタル田園都市国家構想」の文字をタイトルに入れるよう求めています。</p> <p>今回の「総合戦略」の施策ではないですが、「行政事務」「まちづくり評価」「PDCA サイクル」等のデジタル化は喫緊の課題です。生成AIを活用すればすぐにでも実現できるのではないのでしょうか。</p> <p>2. 「地域ビジョン」を何故策定しないのか？ 「スマートシティ」とデジ活「中山間地域」による「地域ビジョン」を策定すべきです。</p> <p>国の交付金（デジタル田園都市国家構想交付金）を利用する場合（「地域再生計画」の申請）でも「地域ビジョン」の記載が必要になると思います。</p> <p>「スマートシティ」への取り組みは「中心市街地活性化事業」が消滅してしまっただけを埋める絶好の機会ではないのでしょうか。</p> <p>「地域ビジョン」の策定は、絶対要件に近いことです。「手引き」を参照すれば簡単にできると思います。</p> <p>3. 総合計画との関係の紐づけが出来ていない 「総合計画」は、「まちづくり」に関する最上位の計画で、「総合戦略」の各施策も当然「総合計画」の施策を実践するものでなければなりません。</p> <p>「総合計画」はすでに策定済みなので関係をあえて記載する必要はないということでしょうか。（第1期、第2期では記載されていた）</p> <p>各々の施策についての「評価」は同じでなければならないのですから。やはり紐づけを明記したほうが良いと思います。</p> <p>4. 個別施策の良し悪しは、この「総合戦略（案）」だけでは検証できないので、コメント出来ません。もしPDCAサイクルの検証で不都合な結果が出たら、その施策を再検討し改定も出来るのですから。</p> <p>5. 策定期間については、年度内成立を急ぐことはないと思います。</p> <p>この「総合戦略」による当面の交付金申請は出来ない（次回は令和7年8月頃）はずですから若干ずれてもいいと思いますが。今回の「総合戦略」策定は、国の「地方創生推進」の目的に合うものでなければなりません。上記指摘した通り「デジタル化」と「地域ビジョン」は欠かせない要件です。ま</p>

	<p>た「地域再生計画」の作成体制（地域再生協議会・地域再生推進法人等）も強化する必要があるのではないのでしょうか。「総合戦略」の中に推進体制を明記することも考えられます。</p> <p>6.最後に「人口ビジョン」も公開して下さるようお願いいたします。</p>
町の考え方	<p>1について 国が作成した策定の手引きの中では「地域の実情に応じた名称を設定することが適切」とされています。本戦略のタイトルについては、本町が目指す目標と方向性についてより適したものにしました。</p> <p>なお、行政のデジタル化等については、内部で検討の上、可能なものから順次取り進めているところです。</p> <p>2について Ⅲ-1「目指す姿」にありますように、『誰もが住みたくなる「丘のまちびえい」の実現』が目指すべき理想像（地域ビジョン）となります。町民の方に分かりやすいよう、専門用語である「地域ビジョン」を「目指す姿」とかみ砕いた表現にしております。</p> <p>なお、主な事業に「ICTの推進」や「ICTを活用した教育の推進」など、デジタル技術を活用して市民生活の質の向上や仕事づくりに係る施策を盛り込んでおります。</p> <p>3について Ⅱ「基本的な考え方」にありますとおり、『本戦略はまちの最上位計画である「第6次美瑛町まちづくり総合計画」で掲げるまちづくりの実現を目指していくことを基本としつつ、まち・ひと・仕事の好循環により、将来にわたってまちの活力を高めていくために策定するものです』と、本戦略と総合計画の関係性を明記しております。</p> <p>4について 個別施策は目標達成のための施策を記載しています。</p> <p>5について 令和7年度に実施する事業においては国の交付金・補助金の活用を見込んでいるものもあり、その一部は本戦略の策定を必須条件としています。また、繰り返しとなりますが、前述のとおりデジタル化に関連するものは施策と事業部分に盛り込んでおり、地域ビジョンも設定しています。</p> <p>なお、地域再生計画については、事業の実施にあたり国の支援措置を活用する場合において、これまでも当町において作成を行っているところであり、今後も現状の体制で十分対応可能であると考えています。</p> <p>6について 総合戦略公表時に関連資料として公表予定です。</p>

